

児童発達支援

事業所における自己評価結果(公表)

参考ページ3

事業所名 ヌイソハート菊水

公表:令和4年3月30日

チェック項目	生活・環境				児童発達支援				児童の権利の保障				
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
利用定員が指導員・補助員等スペースとの関係で適切であるか	6	3											
職員の配置数は適切であるか	5	4											
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2											
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっているか	7	2											
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	5											
保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4											
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと ともに、その結果による支援の質の評価及び改 善の内容を、事業所の公表ホームページ等で 公開しているか	5	4											
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	4	5											
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	8	1											
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発 達支援計画を作成しているか	9												
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	7	2											
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」「発 達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支 援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか	6	3											
児童発達支援計画に沿った支援が行われてい るか	6	3											
利用定員が指導員・補助員等スペースとの関係で適切であるか	6	3											
職員の配置数は適切であるか	5	4											
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2											
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっているか	7	2											
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	5											
保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4											
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと ともに、その結果による支援の質の評価及び改 善の内容を、事業所の公表ホームページ等で 公開しているか	5	4											
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	4	5											
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	8	1											
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発 達支援計画を作成しているか	9												
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	7	2											
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」「発 達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支 援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか	6	3											
児童発達支援計画に沿った支援が行われてい るか	6	3											
目的を明確にし、情報共有を行う。													
目的を明確にし、情報共有を行う。													
ミーティングで児童の成長過程の確認、情報共有を深めたい。													
ミーティングで児童の成長過程の確認、情報共有を深めたい。													
研修に参加し、理解を深めたい。													
研修に参加し、理解を深めたい。													
目的を達成出来るようにミーティングを増やしたい。													
目的を達成出来るようにミーティングを増やしたい。													
職員間のコミュニケーションを増やしたい。													
職員間のコミュニケーションを増やしたい。													
毎日支援終了後に清掃と消毒を行っている。													
毎日支援終了後に清掃と消毒を行っている。													
適切であっても活動時、見守りが難しい場面がある													
適切であっても活動時、見守りが難しい場面がある													
歩行練習もある為、あった方がよい。													
歩行練習もある為、あった方がよい。													
梁間や改修する等追加された改善内容又は改善目標													
梁間や改修する等追加された改善内容又は改善目標													

14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2				
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2				
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7	2				
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	2			情報共有の明確性
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	4	2	3			振り返りを行い次に活かせるようにする。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2				詳しく細かく書いた方が次につながると思う。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	3				
21	障害児相談支援事業所のサービスマン担当者会議にその子どもの状況に精通した人もかきわしい者が参加しているか	6	3				
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	3				
23	(医療的ケアが必要)な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	3				
24	(医療的ケアが必要)な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	6				
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3				
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	2	1			
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	3			
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	3			公園活動等で交流の機会はある。

児童虐待防止の取組		児童虐待防止の取組		児童虐待防止の取組		児童虐待防止の取組	
2	3	3	3	2	7	8	3
30	8	1	1	8	7	8	3
31	4	5	5	4	7	8	3
32	7	2	2	7	6	8	3
33	8	1	1	8	6	8	3
34	6	2	2	6	6	8	3
35	3	5	5	3	6	8	3
36	8	1	1	8	6	8	3
37	6	3	3	6	6	8	3
38	9			9	6	8	3
39	6	2	2	6	6	8	3
40	3	5	5	3	6	8	3
41	7	2	2	7	6	8	3
42	7	1	1	7	6	8	3
43	8	1	1	8	6	8	3

④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7	2		
⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		
⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2	1	
⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	3		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。